



大崎市立古川北小学校
学校だより

よつば

令和8年1月8日 第12号

教育目標

やさしく かしく しなやかに生きる子どもの育成

【命を大事にすることを基本に】

- ◎思いやりのある子ども（人やものを大切にする力）
- よく考える子ども（自分の考えをもち、表現する力）
- ねばり強い子ども（チャレンジし続ける力）



校木 ケヤキ

一日の計は朝にあり ～ 冬休み明け朝会より ～

校長 岩谷 敏之

明けましておめでとうございます。15日間の冬休みも終わり、今日から2学期後半がスタートしました。よく「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と例えられることがあります。実際に卒業式・修了式までの登校日は、約40日間です。今年度の締めくくりに向けて、充実した一日一日を過ごしてほしいと思います。御家庭の御協力もよろしくお願いいたします。

さて、冬休み明け朝会で、校長が話をした内容の一部を、抜粋し掲載します。

この「一年の計は、元旦にあり」の言葉の前には、こんな一行があるのです。「一日の計は朝にあり」です。「一年の計」は「元旦」で、「一日の計」は「朝」なのです。つまり「一日の計画は、朝のうちに立てるのが良い」ということで、「一年の計は元旦にあり」と同じく、「物事の計画は、早いうちに立てるべきだ」という意味です。

校長先生が「一日の計は朝にあり」の言葉を伝えたいのは、一日一日を大切に過ごしてほしいと思うからです。朝は気持ちよく起きて、朝ごはんをしっかり食べる。「さあ、今日は〇〇を頑張るぞ」という気持ちを持って、毎朝登校してほしいと思います。そうした朝を迎えるためには、「早寝・早起き・朝ごはん」が大切です。夜遅くまでゲームをしたり、テレビを見ていたりすると、朝が起きられず、ご飯も食べられず、心も体も元気がなくなります。冬休みで、少しくるった体の時計を早めにリセットしましょう。

「一日の計は、朝にあり」「一年の計は、元旦にあり」という言葉をまねてみると「将来の計は、今にあり」と言えると思います。「今」というのは、「小学生の頃」という意味も込めました。1年生から5年生までのみなさんも、小学校を卒業するまでには、「自分はこんな人になりたい」という理想の自分の姿を持ってほしいと思います。そのためにも、まずは、小さなことから構いませんので、目標を立ててみましょう。

1年生は4月に新しい1年生を迎えます。新しい1年生のお兄さん、お姉さんとしてお手本になれるように2学期後半の生活をがんばっていきましょう。2、3、4年生もそれぞれ学年が上がります。4年生は高学年になりますね。期待しています。また、5年生は6年生になり、最高学年として、古川北小学校のリーダーとして、学校全体をまとめていかなければなりません。大変な道のりかも知れませんが、これまでの先輩方も歩んできた道です。きっと頑張れるはずですよ。そして、6年生は、いよいよ中学生です。10月のオープンスクールで、中学校生活のことを見聞きしてきたことでしょう。その準備のためにも、これからの2か月を有効に過ごしてほしいと思います。

学校教職員も、今年度のまとめに向けて、全精力を注いで参ります。本年もよろしくお願いいたします。

